

—Campus Living 企画経緯—

manaVIVA(マナビバ)・musuVIVA(ムスビバ)

Campus Livingは、平成30年静岡草薙キャンパス開設を機に、利用方法や必要な什器について、平成30年度大学学友会(山村優太会長)と学生部教職員を中心に検討を進め、設置されました。

学友会企画として広く学生へのアイデア募集や情報収集を行った結果、学生の“居場所”として「学習」「イベント」「くつろぎ」のスペースが必要との結論になりました。

B棟の Campus Living には「くつろぎ」を目的とする什器を、また C 棟には時に「学習」、時に「イベント」と環境変化の出来る什器を導入することで、学生のニーズにそった“居場所”を拡充しました。

什器の選定と配置にあたっては、静岡草薙キャンパス 2 階を貫く「トコハストリート」に面している Campus Living に、キャンパスの顔となるデザイン性と学生の日々の活動をサポートする機能性とを両立させることを目指しました。

学友会が「manaVIVA(マナビバ)」「musuVIVA(ムスビバ)」と名づけたこの二つの“居場所”を舞台に、～より高きを目指して～学生たちが総合コンセプトである「VIVA(生きよ!)」を体現するような澆刺とした大学生活を送ることを心から願っています。

より高きを目指して ～ Learning for Life ～

常に青々とした葉を繁らせ、純白な花を咲かせて黄金の実を結ぶ橘こそ、常葉の象徴。

美しい心を持ち、より高い目標に向かってチャレンジし、学び続ける姿勢こそ、常葉の精神。

令和元年 12 月 常葉大学学生部
(平成 31 年 設置)